

空也上人の鹿の埋葬伝説
石岡市井関と隣接する地域に「穴倉」があります。「穴倉」が史料に初めて登場するのは、和歌山県の熊野神社に係わる文書の中に平仮名表記で「ししくら」とあるものがあげられます。この文書では、「ししくら」に熊野神信仰者が存在したことが記されており、現在でも穴倉字狹平には熊野神社が所在しています。また、穴倉は江戸時代には「穴倉」と記される場合が多く、これは誤記とも考えられるのですが、あまりにも多くの史料に記されているので、単に「ししくら」を当て字でもって表現したと考へられます。

穴倉
穴倉は江戸時代には「穴倉」と記される場合が多く、これは誤記とも考えられるのですが、あまりにも多くの史料に記されているので、単に「ししくら」を当て字でもって表現したと考へられます。

穴倉

現在のデータ
志士庫地区内の広い範囲で大字として使用されている。



空也上人の鹿の埋葬伝説
石岡市井関と隣接する地域に「穴倉」があります。「穴倉」が史料に初めて登場するのは、和歌山県の熊野神社に係わる文書の中に平仮名表記で「ししくら」とあるものがあげられます。この文書では、「ししくら」に熊野神信仰者が存在したことが記されており、現在でも穴倉字狹平には熊野神社が所在しています。また、穴倉は江戸時代には「穴倉」と記される場合が多く、これは誤記とも考えられるのですが、あまりにも多くの史料に記されているので、単に「ししくら」を当て字でもって表現したと考へられます。



馬場(跡松)の掛け鞍
建つ穴倉を題材にした歌碑

浅うして春め流野井阿里村しく礼
徐全

★平成20年度は、市内の地名の由来・いわれなどを紹介していきます★

ふるさとの地名編

文芸ひろば

俳句

朝桜水の綾なす川平ら
君子蘭堂々として濃かりけり
花の昼園児の列の伸び縮み
城跡に二つの櫓桜咲く
降り足りて光の通る牡丹の芽
眼裏に兎ら果立つ日のさくら草
人送り人迎えたる花の門
野良猫に盗られし軒や四月馬鹿
今朝の雪ユトリロのふと横切りなり

短歌

わが家にも大き月照りてあたりけり夫の介護を終へて帰り来
「お祝いよ」中にメモある小包は伯母の心に想いは深し
五十年夫運転の自家用車無事故に終り家族で祝う
開店の祝いの花輪あまたなるパチンコ店は開店何度目
春を待ち霜げる草を吹き分けて季の移りのにほふ風吹く
結婚式無事に終れど一人娘を手ばなす息子に休肝日すすめる
健やかにせめて十年永らへたき希ひもゆらく風邪にこもりて
昨夜の雨しづかに止みますがしが光湛える水仙の花

- 飯沼礼子(上土田)
鳥海 力(下稲吉)
桜井愛子(中志筑)
大塚隼人(新治)
車田きみ(大和田)
小松崎正栄(戸崎)
福田宏通(御殿)
松葉ふみ(内加茂)
渡辺静江(稲吉東)
飯沼礼子(上土田)
鳥海 力(下稲吉)
桜井愛子(中志筑)
大塚隼人(新治)
車田きみ(大和田)
小松崎正栄(戸崎)
福田宏通(御殿)
松葉ふみ(内加茂)
渡辺静江(稲吉東)
宮本和子(中佐谷)
橋本とし(粟田)
畑百合子(上佐谷)
鳥海 力(下稲吉)
小室和則(西成井)
飯島ヒロエ(三ツ木)
小貫弘子(牛渡)
前嶋 武(上土田)

信頼と活力に満ちた学校づくり

～子どもたちが生き生きとした学校生活を送るために～

岡かすみがうら市教育委員会
学校教育課 内線☎2400



市内17の小中学校においては、児童生徒が楽しく生き生きとした学校生活を送るために、それぞれの学校が児童生徒や地域の実態を生かしながら、次の5点を中核に創意を生かし、さまざまな教育活動を展開しています。

1 確かな学力を身につけさせる教育の推進

- 学力については、基本的な知識や技能だけでなく、学習意欲や思考力・判断力といったいわゆる「生きる力」の育成が最重要であるという考えに立った取り組みをしています。
・読書の時間の十分な確保。
・図書館司書配置(中学校を拠点)による、読書や調べ学習の一層の充実
・習熟度別指導や複数教師による協力授業などの多様な指導方法
・地域人材の積極的活用
・体験活動などによる実感を伴った学習

2 豊かな心をほぐす教育の推進

- すべての学校教育活動を通して、豊かな将来への夢を育むための取り組みをしています。
・道徳の時間における重点指導項目の指導
・児童生徒と教師、児童生徒相互の

3 健康や体力をほぐす教育の推進

- 明るく豊かで活力のある生活を営む態度の育成を目指し、健康の保持増進の基礎を培う取り組みをしています。
・食の教育の一層の充実
・外部講師の活用による運動技能の向上
・自己管理能力を高める健康教育
・体力向上のための運動量確保

4 自立をめざす特別支援教育の推進

- 児童生徒の能力や可能性を最大限に伸ばすことを第一に考え、一人一人のニーズにこたえるための取り組みをしています。
・特別支援コーディネーターによる関係機関との連携
・学校介助員の配置による支援
・専門職員による就学相談の充実

5 学校生活における安全確保

児童生徒の安全確保が最重要課題であるとの認識に立って、交通事故

相談機関にご相談ください



教育委員会では、学校と保護者・地域がともに手を取りながら児童生徒の健全な成長を見守るために、相談機関を設置しています。

Table with 3 columns: Consultation type, Center name, and Phone number.

や不審者による事故の未然防止のための取り組みをしています。
・スクールガードリーダーやPTAなどによる安全パトロール
・交通安全教室などによる定期的な交通指導